

目指す姿	事業名	内容
① 在宅療養支援体制構築・築き上げられ、退院支援の基盤が整備され、場面に応じた切れ目のないサービス (① 在宅療養支援体制構築・築き上げられ、退院支援の基盤が整備され、場面に応じた切れ目のないサービス)	在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会	在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会を年3回開催し、現状の把握と課題の抽出、実施事業の検討・評価を行う。 第1回: 令和4年 5月26日(木) 第2回: 令和4年 10月6日(木) 第3回: 令和5年 2月2日(木)
	在宅医療・救急医療連携ワーキング	・救急医療情報キットの周知啓発 ・介護施設における救急時対応と看取りの現状把握、対応策の検討
	【休止】 市民啓発ワーキング	※昨年度の実績として、市民向け講座資料を作成。今年度はその資料を用いて「なるほど行政講座」を実施する予定。ワーキングの活動は休止する。
	【新設】 災害対策ワーキング	災害時の在宅療養者への支援について、現状の把握と対応策を検討
	「在宅医療後方支援制度」の運用	・病院関係者意見交換会の開催 ・制度の周知啓発(市内・市外在宅医療実施医療機関)
	「認知症初期集中支援チーム」の活動	・医療・介護関係者にチームの活動について周知を行う。
	<認知症当事者支援・家族支援体制の構築> 「らくらく介護教室」の開催 「お楽しみ処(認知症カフェ)」の開催 認知症パートナーの養成・活動(チームオレンジ)推進	・認知症らくらく介護教室の開催(各地域包括支援センター主催): (6/29、10/13、2/17)。 ・お楽しみ処(認知症カフェ)開催協力: 西白井(第1水曜・第3木曜)、池の上(第1・第3火曜)で開催。 ・認知症パートナー養成講座開催(10/7): 各認知症支援活動へ認知症パートナーをつなぎ、各活動の活性化を図る。 ・チームオレンジ活動の推進:(お元気まもり事業を通して、認知症状で閉じこもりがちな家庭に訪問し、玄関先での交流を図っていく。)
	認知症支援体制の評価	・認知症支援体制の評価方法の検討(認知症当事者の意見を反映)

目指す姿	事業名	実施内容
築② が で 医 療 き ・ 介 護 職 の 資 質 向 上 が 顔 の 見 え る 。 関 係 構	多職種連携研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護等の関係者向けに顔の見える関係づくりを目的に研修会を開催する。研修テーマ(案)「緩和ケア」。
	各職種の資質向上のための研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護施設職員の救急時の対応力向上を目的とした「介護施設職員向け急変時対応シミュレーショントレーニング」を開催する。

目指す姿	事業名	実施内容
報③ 共 有 ツ ・ 介 護 が 普 行 政 等 関 係 者 の 連 携 ル ー ル が 作 ら れ 、 情	救急医療情報キット、介護施設用シートの配布、運用	<ul style="list-style-type: none"> ・救急医療情報キットの配布(継続) ・医療・介護・消防(救急)によるキット運用に係る意見交換会 ・消防本部、印西市、白井市担当者による打ち合わせ(年2回)
	入退院時連携ルールの普及	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の入退院時支援担当者とケアマネジャーの関係性構築と入退院時連携ルール普及のため、意見交換会を開催
	多職種連携情報共有システム(ICT検討)ワーキング	<ul style="list-style-type: none"> ・システム運用上の課題の把握、対策の検討 ・システムの普及啓発を目的に医療・介護関係者を対象に説明会を開催
	徘徊保護高齢者に関する警察との連携体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 警察からの情報提供に基づき、地域包括支援センターと連携し徘徊保護高齢者の支援を行う。

目指す姿	事業名	実施内容
啓④ 発認 を知 行症 い、 在宅 市民 の医 療、 在宅 看理 が進 む。 等 につ い ての 普 及	【変更】 「しろい在宅医療フォーラム」の開催	認知症や介護予防、在宅医療についての市民向け普及啓発イベントを一本化し、年度ごとにテーマを設定して実施する。令和4年度は「認知症(予防と医療)」をテーマに開催。
	「終活支援ノート」の配布、「終活支援講座」の開催	【終活支援ノート】 ・地域包括支援センター窓口にて配布を継続。 【終活支援講座】 ・なるほど行政講座のメニューに位置付け、依頼に応じて地域包括支援センターと協力しながら開催する
	「認知症周知啓発月間」 「認知症サポーター養成講座」	・懸垂幕の設置、図書館等情報コーナーの設置 ・認知症サポーター養成講座: 随時開催

目指す姿	事業名	実施内容
談口⑤ 支が 援在宅 体制整 備医療 がれ・ 整、介 う。護 市民連 や携 医、 療認 ・知 介症に 関関 係する 者へ の相 談窓	「認知症ガイドブック」に認知症に関する相談先の情報を掲載	・窓口相談、講座開催時に周知 ・9月の周知啓発月間に併せて周知実施 ・メール・HP・SNS配信
	医療・介護関係者からの在宅医療に関わる相談対応の実施 ※高齢者福祉課および地域包括支援センター	市外も含めた医療資源(訪問診療、訪問看護等)の情報整理を行い、医療・介護関係者からの相談時に活用できる体制を整える。
	「地域包括支援センター」の周知啓発	65歳の方の総合相談窓口として市民に認識してもらえよう、市ホームページ等、継続して周知に取り組む。